

# オリジナル新品種（リンドウ） 「ふくしま凜夏（フクシマリンカ）」について

## 1 「ふくしま凜夏」の位置づけ

「ふくしま凜夏」は、これまで本県が育成した品種の中で最も開花期が早い極早生品種である。また、生育の揃いが良く栽培しやすいことから、生産者の収益向上が期待され、本県オリジナル品種の新たな銘柄として普及を図る。

## 2 育成経過

|          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 平成17年    | 母株「WA6-1-1」×父株「WA6-18-2」を交配 |
| 平成18年    | 組合せ能力検定実施                   |
| 平成19年    | 「郡交64」の系統番号を付与              |
| 平成20年    | 「福島交18号」の地方番号を付与            |
| 平成20～22年 | 田村市大越町で生産力検定                |
| 平成21～23年 | 地域適応性検定（二本松市、北塩原村、飯舘村）      |

## 3 品種の特性

- (1) 花色は濃青紫（RHSカラーチャート96A）である。
- (2) 7月上旬に開花する極早生品種である。平坦部では6月下旬から7月上旬に開花する。
- (3) 頂花の数は4.6花で少、着果節数は5.4段で中である。
- (4) 生育の揃いが良いなど栽培しやすい。一代雑種品種であるため、生育旺盛で株落ちも少なく強健である。

